

# 東シナ海ブロック水産業情報

No. 120(2023年1月~3月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○筑前海 【カキ養殖】 順調に経過。カキ小屋での販売を中心に出荷。 【ワカメ養殖】 一部、食害や栄養塩不足により収穫量が減少。 【栽培関連】 種苗生産したハマグリを育成カゴに收容し、放流試験を実施中。</p> <p>○有明海 ・冷凍網張り込みは1月3日から開始され、摘採は1月10日から開始された。 ・12月12日に発生したスケルトネマ属の赤潮は、12月30日に終息傾向を示したが、1月4日に最大細胞数49,970cells/mlとなり全域に広がった。1月10日から減少傾向を示し、1月23日に終息した。 ・色落ちは1月10日に全域で確認され、1月20日まで継続した。 ・あかぐされ病は1月6日に感染が確認され、1月20日の降雨以降、病勢が強くなり、重症化、漁期を通じて蔓延した。壺状菌病は確認されなかった。 ・1月24日に寒気に伴う台風並みの強風により、ノリ網や支柱の破損等の被害が生じた。 ・1月下旬以降、植物プランクトンは低水準となり、海況は安定し、色落ちは確認されなかった。 ・4月5日までに網の撤去、4月21日までに支柱の撤去を終えた。 ・冷凍網は、生産枚数4億4千0百万枚(過去5年同期比50%)、生産金額79億9千9百万円(過去5年同期比74%)、平均単価18.19円(過去5年同期比+5.90円)。 ・累計は、生産枚数6億3千6百万枚(過去5年同期比50%)、生産金額105億2千8百万円(過去5年同期比67%)、平均単価16.54円(過去5年同期比+4.06円)。</p> <p>○豊前海 【カキ養殖】 ・生産は平年並み。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。</p>	<p>○有明 ・カキ養殖 大浦地区の令和4年度のマガキ養殖生産は、前年夏季の大雨による海域の低塩分化もなかったため、約42トンで豊漁であった。令和5年度の生産は、令和5年1月に宮城県から種カキを搬入し開始されている。搬入された種カキは、大浦地先の干潟で抑制飼育を行い、養殖筏への種カキの垂下は、4月中旬から順次行われ本養殖が開始される。</p> <p>・ノリ養殖 冷凍網の出庫は令和5年1月2日から行われたものの、秋芽網期の12月中旬から発生したスケルトネマ赤潮が2月中旬まで長期間発生したため、大きな色落ち被害が発生した。秋芽網期と冷凍網期を併せた生産は、枚数約9.1億枚と、平成5年以降過去最低の生産枚数となったものの、高単価であったことから生産金額は約168億円に留まった。</p> <p>○玄海 ・アカウニの種苗生産実施中 ・3月末からマナマコ種苗生産開始</p>		<p>ヒラメ: スクーチカ症</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
	<p>なし</p>		